

第2 卒業の要件

1. 卒業の要件と取得学位

本学部を卒業するためには4年以上在学し，教育課程に定める授業科目を履修し，学校教育教員養成課程は135単位以上(幼児教育コースは143単位以上)，人間発達環境課程は130単位以上を修得することが必要である。また教員免許の取得にあたっては，4年次の教職実践演習において，「教師に求められる資質能力」の習得状況の確認(教職実践演習最終確認書)が求められる。そのため，学生は教職へ向けての様々な学びの履歴を蓄積し，整理しておかねばならない(教員養成質保証)。

(1) 教育課程の概要

本学部の教育課程は次表のとおりである。1・2年次で主として教養ゼミナール，主題科目，学問基礎科目，コミュニケーション科目(外国語，健康・スポーツ実技)及び専門基礎科目に関する授業科目を履修し，3・4年次で主として専門科目に関する授業科目を履修できるよう4年間の履修計画を立てておくこと。

教育学部の教育課程

区 分	卒業要件単位数					
	学校教育教員養成課程				人間発達環境課程	
	学校教育基礎コース 特別支援教育コース 教科教育コース		幼児教育コース			
主 題 科 目	8単位以上	24単位以上	8単位以上	24単位以上	8単位以上	24単位以上
学 問 基 礎 科 目	4単位以上		4単位以上		4単位以上	
教 養 ゼ ミ ナ ー ル	2単位		2単位		2単位	
高学年向け教養科目	(2単位)		(2単位)		(2単位)	
コ ミ ュ ニ ケ ー シ ヨ ン 科 目	外 国 語	1種目6単位以上	1種目6単位以上	1種目6単位以上	1種目6単位以上	
	英 語				1種目4単位以上	
ド イ ツ 語						
フ ラ ン ス 語						
科 目	中 国 語	2単位以上	2単位以上	2単位以上		
	韓 国 語					
健康・スポーツ実技	2単位以上	2単位以上	2単位以上	2単位以上		
専 門 基 礎 科 目	4単位以上	4単位以上	4単位以上	4単位以上		
専 門 科 目	99単位以上	107単位以上	90単位以上			
計	135単位以上	143単位以上	130単位以上			

(2) 取得学位

卒業の要件を満たすことによって、学校教育教員養成課程においては学士（教育学）、人間発達環境課程においては学士（教養学）の学位を取得できる。

2. 教養ゼミナール、主題科目、学問基礎科目、コミュニケーション科目（外国語、健康・スポーツ実技）等の履修

これらの科目は、幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養することを主たる目的とする全学共通科目であり、全学の学生を対象として開設される。詳細については、「全学共通科目修学案内」を参照すること。

(1) 教養ゼミナール、主題科目及び学問基礎科目

教養ゼミナール、高学年向け教養科目、主題科目及び学問基礎科目から、24単位以上を修得すること。

主題科目については、開設の主題科目 A から 2 単位（必修）、主題科目 B の中から 6 単位以上を修得しなければならない。

教養ゼミナールは必修科目である。高学年向け教養科目については、2 単位を上限として全学共通科目の卒業最低修得単位数 24 単位内の単位として認定する。学問基礎科目は 4 単位以上を修得すること。

(2) コミュニケーション科目

外国語科目

学校教育教員養成課程においては、5 種類の外国語（英語、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語）のうち 1 種類を 6 単位以上修得すること。

人間発達環境課程においては、1 種類を 6 単位以上、さらに別の 1 種類を 4 単位以上修得すること。

健康・スポーツ実技については 2 単位を修得すること。

(3) その他

教員免許状の取得にあたっては、学問基礎科目（法学 A）の「日本国憲法」2 単位を修得することが必要である。

3. 専門基礎科目、専門科目の履修

専門基礎科目、専門科目に関する授業科目及び単位数は、課程又はコース、サブコース、領域ごとに定められているので、次頁以降の各々の履修基準を参照すること。

教育学部の教育課程
科目区分と卒業に必要な単位数

区 分	学校教育教員養成課程	人間発達環境課程
全学共通科目	教養ゼミナール 主題科目 32 学問基礎科目 コミュニケーション 科目(外国語,健康・スポーツ実技)	教養ゼミナール 主題科目 36 学問基礎科目 コミュニケーション 科目(外国語,健康・スポーツ実技)
専門基礎科目 (学部共通)	人間形成論 マルチメディアリテラシー 4	
専 門 科 目		
基 礎 研 究	学校教育基礎研究 14～18 (課程共通)	基礎研究 16～26 発達と環境(課程共通) 基礎科目・研究法
実 践 研 究	学校教育実践研究 31～47 教科研究・特別支援教育 学校生活研究 教育実地研究	実践研究 4
発 展 研 究	学校教育発展研究 34～50 選択科目 自由科目 卒業研究	発展研究 60～70 選択科目 特別演習 自由科目 卒業研究
履 修 単 位 数	135 (幼児教育コース143)	130

各コースの卒業要件における「自由科目」について

この場合の自由科目とは、教育学部で開設される全ての専門科目のうち、(教育実習等も含む。)卒業に必要な科目以外を指す。また、卒業に必要な科目でも、必要数以上の単位を修得した場合には、自由科目と認められる。さらに、人間発達環境課程人間環境教育コースにおいては経済学部で開設する指定の科目(38頁別表3)を、国際理解教育コースにおいては法学部・経済学部で開設する指定の科目(37頁別表2)を、自由科目として履修できる。

(1) 学校教育教員養成課程履修基準
学校教育基礎コース

区 分	授 業 科 目	単位数	備 考
主題科目 学問基礎科目 教養ゼミナール コミュニケーション科目 (「外国語」「健康・スポーツ実技」)		3 2	
専門基礎科目	人間形成論(2) マルチメディア・リテラシー(2)	4	
学校教育基礎研究	教職の意義	教職概論(2)	2
	教育の理念と歴史・思想	教育原論(2)	2
	児童生徒の発達理解	学校教育心理学(2)	2
		児童心理学(2) 青年心理学(2)	2
	学校教育のシステム理解	教育社会学(2) 教育経営学(2)	2
教育の方法とカリキュラム	学校教育課程論 A (2)	2	
	教育の方法と技術 A (2)	2	
学校教育実践研究	教科研究	初等国語(2) 算数科学研究(2)	2
		初等社会(2) 初等理科(2) 生活科学研究(2) 初等家庭(2)	2
		初等音楽 ・ (各1) 図画工作 ・ (各1) 初等体育 ・ (各1)	2
		初等国語教育法(2) 初等社会教育法(2) 算数教育法(2) 初等理科教育法(2) 生活科教育法(2) 初等音楽科教育法(2) 図画工作教育法(2) 初等家庭科教育法(2) 初等体育教育法(2)	1 8
	学校生活研究	道德教育論(2) 特別活動論(2)	4
		生徒指導論 A (2) 学校教育相談学 A (2)	4
	教育実地研究	教育実習(小学校)(5) 教育実習(小学校以外)(2) 教育実践プレ演習(1) 教育実践演習 A (1)	5 2 1 1
		保育・教職実践演習(幼・小)(2)	2
		特別教育実習 A (1) 特別教育実習 B (2)	
	学校教育発展研究	選択科目	別表 1
自由科目		教育学部で開設する科目	4
卒業研究		卒業研究(4)	6
		1 3 5	

備考

- 1) 本コースの履修基準を満たすと、小学校教諭1種免許状が取得できる。
- 2) 教員免許状を取得するためには、履修基準に定めた授業科目以外に「介護等体験実習」を受講することが必要となる。
- 3) 副免許として中学校教諭免許状を取得するためには、履修基準に定めた授業科目以外に「学校教育課程論B」「教育の方法と技術B」を履修し、「生徒指導論B」又は「学校教育相談学B」を履修することが必要となる。

別表 1 学校教育基礎コース選択科目

いずれかの領域を選択して履修すること。

教 育	領域科目	教育学演習 A・B(各1) 教育学演習 A・B(各1) 教育学演習 A・B(各1) 教育学チュートリアル (各1)	8	
		次の科目群から(既修の科目を除く) 教育社会学(2) 教育経営学(2) 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育制度史(2) 教職の総合的研究(2)	6	
領 域	関連科目	領域科目のうち未修の科目から 小学校教科に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 初等国語(2) 算数科研究(2) 初等社会(2) 初等理科(2) 生活科研究(2) 初等家庭(2) 初等音楽 (各1) 図画工作 (各1) 初等体育 (各1) 教職に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育 制度史(2) 生涯学習概論(2) 保育・幼児教育課程論(2) 児童心理学(2) 青年心理学(2) 教職の総合的研究(2) 総合的学習論A・B(各2) 生活科授業研究(2) 授業実践論A・B (各2) 教育法規入門(2) ボランティア活動(2) 教育実践 基礎演習(2) 社会研修(2) 介護実践演習(1)	10	教科又は 教職に関 する科目
	教科科目	次のいずれか一つの方法により、6単位を履修する。 別表2より、いずれか一つの領域を選択し、教科領域科目4 単位、教科教育法2単位を選択履修 幼児教育コース履修基準の教科研究の下段から6単位を選択 履修 特別支援教育コースで開講される科目から6単位を選択履修	6	(中免) (幼免) (特免)

心 理	領域科目	心理学実験 (各1) 心理検査 (各1) 教育心理学演習 (各1) 教育心理学実験 (各1)	8	
		次の科目群から 学級集団心理学(2) 社会心理学(2) 性格心理学(2) 教育統計学(2) 生涯発達心理学(2) 臨床心理学(2) 障害児心理学(2) 障害児心理アセスメント論(2)	6	
領 域	関連科目	領域科目のうち未修の科目から 小学校教科に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 初等国語(2) 算数科研究(2) 初等社会(2) 初等理科(2) 生活科研究(2) 初等家庭(2) 初等音楽 (各1) 図画工作 (各1) 初等体育 (各1) 教職に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育 制度史(2) 生涯学習概論(2) 保育・幼児教育課程論(2) 児童心理学(2) 青年心理学(2) 教職の総合的研究(2) 総合的学習論A・B(各2) 生活科授業研究(2) 授業実践論A・B (各2) 教育法規入門(2) ボランティア活動(2) 教育実践 基礎演習(2) 社会研修(2) 介護実践演習(1)	10	教科又は 教職に関 する科目
	教科科目	次のいずれか一つの方法により、6単位を履修する。 別表2より、いずれか一つの領域を選択し、教科領域科目4 単位、教科教育法2単位を選択履修 幼児教育コース履修基準の教科研究の下段から6単位を選択 履修 特別支援教育コースで開講される科目から6単位を選択履修	6	(中免) (幼免) (特免)

幼児教育コース

区 分		授 業 科 目	単位数	備 考	
主題科目 学問基礎科目		教養ゼミナール	3 2		
コミュニケーション科目		(「外国語」「健康・スポーツ実技」)			
専 門 教 育 科 目	専門基礎科目	人間形成論(2) マルチメディア・リテラシー(2)	4		
	学 校 教 育 基 礎 研 究	教職の意義	教職概論(2)	2	
		教育の理念と歴史・思想	教育原論(2)	2	
		児童生徒の発達理解	学校教育心理学(2)	2	
			児童心理学(2)	2	
		学校教育のシステム理解	教育社会学(2) 教育経営学(2)	2	
		教育の方法とカリキュラム	学校教育課程論A(2)	2	
	教育の方法と技術A(2)		2		
	学 校 教 育 実 践 研 究	教 科 研 究	初等国語(2) 算数科研究(2) 生活科研究(2)	2	10
			初等音楽・(各1) 図画工作・(各1)	2	
初等体育・(各1)					
幼児音楽(2) 幼児図画工作(2) 幼児体育(2)			6	10	
保育内容の指導法(健康)(2) 保育内容の指導法(人間関係)(2) 保育内容の指導法(環境)(2) 保育内容の指導法(言葉)(2) 保育内容の指導法(幼児音楽)(2) 保育内容の指導法(幼児造形)(2) 保育内容の指導法(身体表現)(2)			8		
保育・幼児教育課程論(2)			2		
学校生活研究		道徳教育論(2) 特別活動論(2)	4		
教育実地研究		乳幼児心理学(2) 生徒指導論A(2)	2	4	
		学校教育相談学A(2)			
		教育実習(幼稚園)(4)	4		
	教育実習(小学校)(2)	2			
学 校 教 育 発 展 研 究	選 択 科 目	教育実践演習A(1)	1		
		保育実習 A(保育所実習)(2)	2		
		保育実習 B(施設実習)(2)	2		
	保育実習指導(2)	2			
	保育実習(2)	2			
	保育実習指導(1)	1			
	保育・教職実践演習(幼・小)(2)	2			
	特別教育実習A(1) 特別教育実習B(2)				
	学 校 教 育 発 展 研 究	選 択 科 目	初等国語教育法(2) 初等社会教育法(2) 算数教育法(2) 初等理科教育法(2) 生活科教育法(2) 初等家庭科教育法(2)	1 2	
			初等音楽科教育法(2) 図画工作教育法(2) 初等体育教育法(2)	4	
幼児教育に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 保育原論(2) 児童福祉論(2) 社会福祉原論(2) 相談援助(1) 養護原理(2) 保育者論(2) 乳幼児心理学(1) 学校保健(2) 発達小児科学(2) 小児保健演習(1) 小児栄養演習(2) 家族援論(2) 保育内容総論(1) 乳児保育(2) 障害幼児の保育(2) 養護内容(1) 保育相談支援(1) 小児発達論(2) 生涯発達心理学(2)			3 0		

学校 教育 発展 研究	選 択 科 目	臨床心理学(2) 児童文化(2) 幼児教育研究法 (2) 幼児教育研究法 (2)		教科又は 教職に関 する科目
		教科に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 初等国語(2) 算数科研究(2) 生活科研究(2) 初等音楽 ・ (各1) 図画工作 ・ (各1) 初等体育 ・ (各1) 教職に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育制度史(2) 生涯学習概論 (2) 乳幼児心理学 (2) 生徒指導論A(2) 教職の総合的研究(2) 総合的学習論A・B(各2) 生活科授業研究(2) 授業実践論A・B(各2) 教育法規入門(2) ボランティア活動(2) 教育実践基礎演習(2) 社会研修(2) 介護実践演習(1)	2	
	自 由 科 目	教育学部で開設する授業科目	1	
	卒 業 研 究	卒業研究(4)	4	
			1 4 3	

備考

- 1) 本コースの履修基準を満たすと、幼稚園教諭 1 種及び小学校教諭 2 種の免許状及び児童福祉法施行規則第 6 条の 2 第 1 項第 3 号の指定保育士養成施設の修業教科目及び単位数並びに履修方法(平成13年5月23日厚生労働省告示198号)及び児童福祉法施行規則第 6 条の 2 第 1 項第 3 号の指定保育士養成施設の修業科目及び単位数並びに履修方法の一部を改正する件(平成22年年7月13日厚生労働省告示278号)に基づく履修をすると保育士資格が取得できる(第 7 の 4 .保育士資格の取得と保育実習を参照)。
- 2) 教員免許状を取得するためには、履修基準に定めた授業科目以外に「介護等体験実習」が必要になる。(保育実習 Bが介護等体験実習に替えることができる施設の場合は、この限りでない。)
- 3) 保育内容の指導法(保育内容の指導法(健康)保育内容の指導法(人間関係)保育内容の指導法(環境)保育内容の指導法(言葉)保育内容の指導法(幼児音楽)保育内容の指導法(幼児造形)保育内容の指導法(身体表現))の単位のうち、半数までは、小学校教諭の普通免許状の授与を受ける場合の各教科の指導法又は特別活動の単位をもってあてることができる。

特別支援教育コース（小学校サブコース）

区 分	授 業 科 目	単位数	備考
主題科目 学問基礎科目 教養ゼミナール コミュニケーション科目（「外国語」「健康・スポーツ実技」）		3 2	
専門基礎科目	人間形成論(2) マルチメディア・リテラシー(2)	4	
学校 教育 基 礎 研 究	教職の意義	教職概論(2)	2
	教育の理念と 歴史・思想	教育原論(2)	2
	児童生徒の 発達理解	学校教育心理学(2)	2
		青年心理学(2) 児童心理学(2)	2
	学校教育の システム理解	教育社会学(2) 教育経営学(2)	2
	教育の方法と カリキュラム	学校教育課程論A(2)	2
教育の方法と技術A(2) 障害児教育方法論(2)		2	
学校 教育 実 践 研 究	障害児の教育	特別支援教育の理念と実際(2) 障害児・者福祉(2) 障害児教育課程論(2) 障害児の指導法(2)	6
	障害児の心理 と 病 理	障害児心理学(2) 障害児心理アセスメント論(2) 発達障害児の教育と心理・生理(2) 発達障害医学 ・生理学(2)	6
	学校生活研究	道徳教育論(2) 特別活動論(2)	4
		生徒指導論A(2) 学校教育相談学A(2)	4
	教育実地研究	教育実習（特別支援学校）(4) 教育実習（小学校）(3) 教育実践プレ演習(1) 教育実践演習A(1)	4 3 1 1
		保育・教職実践演習（幼・小）(2)	2
	特別教育実習A(1) 特別教育実習B(2)		
学 校 教 育 発 展 研 究	選 択 科 目	初等国語(2) 算数科研究(2)	2
		初等社会(2) 初等理科(2) 生活科研究(2) 初等家庭(2)	2
		初等音楽 ・ (各1) 図画工作 ・ (各1) 初等体育 ・ (各1)	2
		初等国語教育法(2) 初等社会教育法(2) 算数 教育法(2) 初等理科教育法(2) 生活科教育法(2) 初等音楽科教育法(2) 図画工作教育法(2) 初等体育教育法(2) 初等家庭科教育法(2)	1 8
		障害児教育学演習 ・ (各1) 障害児心理学演習 ・ (各1) 障害児教授学演習 ・ (各1) 障害児病理学演習 ・ (各1)	2

学 校 教 育 発 展 研 究	選 択 科 目	特別支援教育に関する次の科目群から 視覚の発達と障害(2) 聴覚障害と言語障害(2) 重症心身障害児の療育指導(2) 病弱児の病態 生理(2) 肢体不自由児の心理・病理(2) 病弱児の指導(2) 肢体不自由児の指導法(2)	1 4	
		教科に関する科目群から(既修の科目を除く) 初等国語(2) 算数科研究(2) 初等社会(2) 初等理科(2) 生活科研究(2) 初等家庭(2) 初等音楽 ・ (各1) 図画工作 ・ (各1) 初等体育 ・ (各1) 教職に関する科目群から(既習の単位を除く) 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育制度史(2) 生涯学習概論 (2) 児童 心理学(2) 青年心理学(2) 教職の総合的研究 (2) 総合的学習論 A・B(各2) 教育法規入門 (2) ボランティア活動(2) 教育実践基礎演習 (2) 社会研修(2) 介護実践演習(2)	4	教科又は 教職に関 する科目
	自由科目	教育学部で開設する授業科目	4	
	卒業研究	卒業研究(4)	4	
			1 3 5	

備考

- 1) 本コースの履修基準を満たすと、特別支援学校教諭1種(知的障害者, 肢体不自由者, 病弱者に関する教育の領域)及び小学校教諭1種の免許状が取得できる。
- 2) 学校教育基礎研究においては、障害児教育方法論も履修することが望ましい。
- 3) 副免として中学校教諭免許状を取得するためには、履修基準に定めた授業科目以外に「学校教育課程論B」「教育の方法と技術B」を履修し、「生徒指導論B」又は「学校教育相談学B」を履修することが必要となる。

特別支援教育コース（中学校サブコース）

区 分	授 業 科 目	単位数	備考
主題科目 学問基礎科目 教養ゼミナール コミュニケーション科目（「外国語」「健康・スポーツ実技」）		3 2	
専門基礎科目	人間形成論(2) マルチメディア・リテラシー(2)	4	
学校 教育 基礎 研究	教職の意義	教職概論(2)	2
	教育の理念と 歴史・思想	教育原論(2)	2
	児童生徒の 発達理解	学校教育心理学(2)	2
		児童心理学(2) 青年心理学(2)	2
	学校教育の システム理解	教育社会学(2) 教育経営学(2)	2
	教育の方法と カリキュラム	学校教育課程論B(2)	2
		教育の方法と技術B(2) 障害児教育方法論(2)	2
学校 教育 実践 研究	障害児の教育	特別支援教育の理念と実際(2) 障害児・者福祉(2) 障害児教育課程論(2) 障害児の指導法(2)	8
	障害児の心理 と 病 理	障害児心理学(2) 障害児心理アセスメント論(2) 発達障害児の教育と心理・生理(2) 発達障害医学・生理学(2)	8
	学校生活研究	道德教育論(2) 特別活動論(2)	4
		生徒指導論B(2) 学校教育相談学B(2)	4
	教育実地研究	教育実習（特別支援学校）(4)	4
		教育実習（中学校）(3)	3
		教育実践プレ演習(1)	1
教育実践演習A(1)		1	
	教職実践演習（中・高）(2)	2	
	特別教育実習A(1) 特別教育実習B(2)		
学校 教育 発展 研究	選 択 科 目	別表2 国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体 育，技術，家庭，英語の10領域からいずれかの領 域を一つ選択して履修すること	2 0
		障害児教育学演習 ・ (各1) 障害児心理学演習 ・ (各1) 障害児教授学演習 ・ (各1) 障害児病理学 ・ (各1)	2
		特別支援教育に関する次の科目群から 視覚の発達と障害(2) 聴覚障害と言語障害(2) 重症心身障害児の療育指導(2) 病弱児の病態生 理(2) 肢体不自由児の心理・病理(2) 病弱児の 指導(2) 肢体不自由児の指導法(2)	1 4
	自 由 科 目	教育学部で開設する授業科目	1 0
	卒 業 研 究	卒業研究(4)	4
		1 3 5	

備考

- 1) 本コースの履修基準を満たすと、特別支援学校教諭1種（知的障害者，肢体不自由者，病弱者に関する教育の領域）及び中学校教諭2種の免許状が取得できる。
- 2) 学校教育基礎研究においては，障害児教育方法論も履修することが望ましい。
- 3) 副免として小学校教諭免許状を取得するためには，履修基準に定めた授業科目以外に「学校教育課程論A」「教育の方法と技術A」を履修し，「生徒指導論A」又は「学校教育相談学A」を履修することが必要となる。

教科教育コース（小学校サブコース）

区 分		授 業 科 目	単位数	備考	
主題科目 学問基礎科目 教養ゼミナール コミュニケーション科目（「外国語」「健康・スポーツ実技」）			3 2		
専門基礎科目		人間形成論(2) マルチメディア・リテラシー(2)	4		
学校 教育 基礎 研究	教職の意義	教職概論(2)	2		
	教育の理念と 歴史・思想	教育原論(2)	2		
	児童生徒の 発達理解	学校教育心理学(2)	2		
		児童心理学(2) 青年心理学(2)	2		
	学校教育の システム理解	教育社会学(2) 教育経営学(2)	2		
	教育の方法と カリキュラム	学校教育課程論A(2) 学校教育課程論B(2)	4		
教育の方法と技術A(2) 教育の方法と技術B(2)		4			
学校 教育 実践 研究	教科研究	初等国語(2) 算数科研究(2)	2	8	
		初等社会(2) 初等理科(2) 生活科研究(2) 初等家庭(2)	2		
		初等音楽・(各1) 図画工作・(各1) 初等 体育・(各1)	2		
	学校生活研究	初等国語教育法(2) 初等社会教育法(2) 算数教育 法(2) 初等理科教育法(2) 生活科教育法(2) 初等音楽科教育法(2) 図画工作教育法(2) 初等体 育教育法(2) 初等家庭科教育法(2)	1 8		
		道德教育論(2) 特別活動論(2)	4		
		生徒指導論A(2) 学校教育相談学A(2)	4		
		生徒指導論B(2) 学校教育相談学B(2)	2		
		教育実地研究	教育実習(小学校)(5) 教育実習(中学校)(2) 教育実践プレ演習(1) 教育実践演習A(1) 保育・教職実践演習(幼・小)(2) 特別教育実習A(1) 特別教育実習B(2)	5 2 1 1 2	
			選 択 科 目	教科に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 初等国語(2) 算数科研究(2) 初等社会(2) 初等理科(2) 生活科研究(2) 初等家庭(2) 初等音楽・(各1) 図画工作・(各1) 初等体育・(各1) 教職に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育制度史(2) 生涯学習概論(2) 児童心 理学(2) 青年心理学(2) 教職の総合的研究(2) 総合的学習論A・B(各2) 生活科授業研究(2) 授業実践 論A・B(各2) 教育法規入門(2) ボラ ンティア活動(2) 教育実践基礎演習(2) 社会研 修(2) 介護実践演習(1)	8
	別表2 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体 育, 技術・情報, 家庭の9領域からいずれかの領 域を一つ選択して履修すること		2 0		
自 由 科 目	教育学部で開設する授業科目	2			
卒 業 研 究	卒業研究(4)	4			
			1 3 5		

備考

- 1) 本コースの履修基準を満たすと、小学校教諭1種及び中学校教諭2種免許状が取得できる。
- 2) 教員免許状を取得するためには、履修基準に定めた授業科目以外に「介護等体験実習」を受講することが必要となる。

別表2 特別支援教育コース（中学校サブコース）選択科目 教科教育コース（小学校サブコース）選択科目

- (1) 特別支援教育コース（中学校サブコース）においては、次の10領域からいずれかの領域を一つ選択して履修すること。
- (2) 教科教育コース（小学校サブコース）においては、英語領域を除く9領域からいずれかの領域を一つ選択して履修すること。

国 語 領 域	教科 領域 科目	日本語学基礎論 (2) 日本語学基礎論 (2) 日本語学基礎演習 (1) 日本語学基礎演習 (1)	2	1 2	
		日本古典文学史(2) 日本近代文学史(2) 日本古典文学講読 (1) 日本古典文学講読 (1) 日本近代文学演習 (1) 日本近代文学演習 (1) 日本古典文学演習 (1) 日本古典文学演習 (1)	2		
		中国文学史(2) 中国古典学講読 (1) 中国古典学講読 (1) 中国古典学演習 (1) 中国古典学演習 (1)	2		
		書道 A又は書道 B(各2) 書道 A又は書道 B(各2)	2		
域	関連 科目	国語科内容学演習 (1) 国語科内容学演習 (1)	2		教科又は 教職科目 に対応
		教科 教育 法	国語科教育法(2) 国語科教育論(2)		
		国語科授業研究 又は国語科授業研究 (各2)	2		

備考 教科領域科目については、日本語学基礎論 又は、日本古典文学史又は日本近代文学史、中国文学史、書道 A又は Bを、必ず履修すること。

社 会 領 域	教科 領域 科目	日本史学 (2) 日本史学 (2)	2	1 2	
		東洋史学(2) 西洋史学(2)	2		
		人文地理学(2) 自然地理学(2) 地誌学(2)	2		
		法律学(2) 政治学(2)	2		
		社会学 (2) 社会学 (2) 経済学(2)	2		
		哲学 (2) 哲学 (2) 倫理学 (2)	2		
域	関連 科目	社会科内容学演習(2)	2		教科又は 教職科目 に対応
		教科 教育 法	社会科教育法(2) 社会科教育論(2)		
		社会科授業研究 又は社会科授業研究 (各2)	2		

備考 教科領域科目については、それぞれ選択履修すること。

数 学 領 域	教科 領域 科目	代数学 (2) 代数学 (2) 代数学 (2) 代数学 (2)	2	1 2	
		幾何学 (2) 幾何学 (2) 幾何学 (2) 幾何学 (2)	2		
		解析学 (2) 解析学 (2) 解析学 (2) 解析学 (2)	2		
		確率・統計 (2)	2		
		計算機基礎(2)	2		
域	関連 科目	数学科内容学演習(2)		2	教科又は 教職科目 に対応
	教科 教育 法	数学科教育法(2) 数学科教育論(2)		4	
		数学科授業研究 又は数学科授業研究 (各2)		2	

備考 教科領域科目については、それぞれ選択履修すること。

理 科 領 域	教科 領域 科目	物理学概論 (2) 物理学概論 (2) 基礎物理学実験(1)	3	1 2	
		化学概論 (2) 化学概論 (2) 基礎化学実験(1)	3		
		生物学概論 (2) 生物学概論 (2) 基礎生物学実験(1)	3		
		地学概論 (2) 地学概論 (2) 基礎地学実験(1)	3		
	関連 科目	理科内容学演習(2)		2	教科又は 教職科目 に対応
教科 教育 法	理科教育法(2) 理科教育論(2)		4		
	理科授業研究 又は理科授業研究 (各2)		2		

備考 教科領域科目については、それぞれ実験を含み履修すること。

音 楽 領 域	教科 領域 科目	ソルフェージュ(2)	2	1 2	
		歌唱法基礎A・B(各1) 合唱表現法(2) 声楽 A・B (各1)	2		
		器楽奏法基礎A・B(各1) 合奏表現法(2) 管楽器奏法基礎A・B(各1) ピアノ A・B(各1) 管楽器 A・B(各1)	2		
		指揮法(2)	2		
		楽曲構成基礎論A・B(各1) 作曲・編曲法 (2)	2		
		音楽史(2)	2		
	関連 科目	音楽科内容学演習(2)		2	教科又は 教職科目 に対応
教科 教育 法	音楽科教育法(2) 音楽科教育論(2)		4		
	音楽科授業研究 又は音楽科授業研究 (各2)		2		

備考 教科領域科目については、ソルフェージュ、歌唱法基礎A・B、器楽奏法基礎A・B、指揮法、楽曲構成基礎論A・B、音楽史を、必ず履修すること。

美術領域	教科領域科目	造形基礎 (1) 造形基礎 (1) 絵画 A・B(各1)	2	1 2	
		彫刻 (2) 彫刻 (2)	2		
		構成 A・B(各1) デザイン A・B(各1) 構成 A・B(各1) デザイン A・B(各1)	2		
		工芸 A・B(各1) 工芸 A・B(各1)	2		
		美術理論(2) 美術史 (2)	4		
関連科目	美術科内容学演習(2)		2		教科又は教職科目に対応
教科教育法	美術科教育法(2) 美術科教育論(2)		4		
	美術科授業研究 又は美術科授業研究 (各2)		2		

備考 教科領域科目については、造形基礎、彫刻、構成 A・B、工芸 A・B、美術史 を、必ず履修すること。

保健体育領域	教科領域科目	基礎運動 (1) 身体表現 (1) 球技 A (1) 球技 B (1) 武道 (1) 野外スポーツ (1)	2	1 2	
		体育原理(2) 体育心理学(2) 体育社会学(2) 体育経営管理 学(2) 体育史(2)	2		
		運動学(2) 運動方法学(2)	2		
		生理学(2) 運動生理学(2)	2		
		衛生・公衆衛生学(2)	2		
		学校保健(2)	2		
関連科目	保健体育科内容学演習(2)		2		教科又は教職科目に対応
教科教育法	保健体育科教育法(2) 保健体育科教育論(2)		4		
	保健体育科授業研究 又は保健体育科授業研究 (各2)		2		

備考 教科領域科目については、運動学、生理学、衛生・公衆衛生学、学校保健を、必ず履修すること。第1段では6科目から2科目を、第2段では体育史を除く4科目から1科目を選択履修すること。

技術・情報領域	教科領域科目	木材加工法 (2) 木材加工法 (2)	2	1 2	
		金属加工(2)	2		
		機械工学 (2) 機械工学 (2)	2		
		電気工学 (2) 電気工学 (2)	2		
		栽培学 (2) 栽培学 (2)	2		
		情報基礎 (2) 情報基礎 (2)	2		
関連科目	技術科内容学演習(2)		2		教科又は教職科目に対応
教科教育法	技術科教育法(2) 技術科教育論(2)		4		
	技術科授業研究 又は技術科授業研究 (各2)		2		

備考 教科領域科目については、木材加工法、金属加工、機械工学、電気工学、栽培学、情報基礎 を、必ず履修すること。

家庭 領域	教科 領域 科目	家庭経営学(2) 家族関係学(2)	2	1 2	
		被服学(2) 被服材料学・環境学(2) 被服整理学・染色学(2) 被服構成学実習 (1)	2		
		食物学(2) 食品学・調理学(2) 栄養学(2) 調理学実習 (1)	2		
		住居学(2)	2		
		保育学概論(2)	2		
域	関連 科目	家庭科内容学演習(2)		2	教科又は 教職科目 に対応
域	教科 教育 法	家庭科教育法(2) 家庭科教育論(2)		4	
		家庭科授業研究 又は家庭科授業研究 (各2)		2	

備考 教科領域科目については、家庭経営学、被服学、食物学、住居学、保育学概論を、必ず履修すること。

英語 領域	教科 領域 科目	英語音声学 ・ (各1) 英文法(2) 英語史(2) 英語学演習 (2)	2	1 2	
		英文学史(2) 米文学史(2) 英国演劇(2) 英国散文 (2) 米国散文 (2)	4		
		英会話(2) 英作文(2) L L演習 A・ B(各1) L L演習 A・ B(各1)	2		
		異文化理解(2) 異文化間コミュニケーション論(2)	2		
域	関連 科目	英語科内容学演習(2)		2	教科又は 教職科目 に対応
域	教科 教育 法	英語科教育法(2) 英語科教育論(2)		4	
		英語科授業研究 又は英語科授業研究 (各2)		2	

備考 教科領域科目については、英語音声学 ・ ，英文法、英語史、英文学史、米文学史を必ず履修すること。

教科教育コース（中学校サブコース）

区 分	授 業 科 目	単位数	備考
主題科目 学問基礎科目 教養ゼミナール コミュニケーション科目（「外国語」「健康・スポーツ実技」）		3 2	
専門基礎科目	人間形成論(2) マルチメディア・リテラシー(2)	4	
学校教育基礎研究	教職の意義	教職概論(2)	2
	教育の理念と歴史・思想	教育原論(2)	2
	児童生徒の発達理解	学校教育心理学(2)	2
		青年心理学(2) 児童心理学(2)	2
	学校教育のシステム理解	教育社会学(2) 教育経営学(2)	2
	教育の方法とカリキュラム	学校教育課程論A(2) 学校教育課程論B(2)	4
教育の方法と技術A(2) 教育の方法と技術B(2)		4	
学校教育実践研究	教科研究	初等国語(2) 算数科研究(2) 初等社会(2) 初等理科(2) 生活科研究(2) 初等家庭(2) 初等音楽・(各1) 図画工作・(各1) 初等体育・(各1)	4
		初等国語教育法(2) 初等社会教育法(2) 算数教育法(2) 初等理科教育法(2) 生活科教育法(2) 初等家庭科教育法(2)	1 2
		初等音楽科教育法(2) 図画工作教育法(2) 初等体育教育法(2)	4
	学校生活研究	道德教育論(2) 特別活動論(2)	4
		生徒指導論B(2) 学校教育相談学B(2)	4
		生徒指導論A(2) 学校教育相談学A(2)	2
	教育実地研究	教育実習(中学校)(4) 教育実習(小学校)(2) 教育実践プレ演習(1) 教育実践演習A(1)	4 2 1 1
		教職実践演習(中・高)(2)	2
特別教育実習A(1) 特別教育実習B(2)			
学校教育発展研究	選 択 科 目	別表3 国語, 社会, 数学, 理科, 音楽, 美術, 保健体育, 技術・情報, 家庭, 英語の10領域からいずれかの領域を一つ選択して履修すること	3 4
	自 由 科 目	教育学部で開設する授業科目	7
	卒 業 研 究	卒業研究(4)	4
		1 3 5	

備考

- 1) 本コースの履修基準を満たすと、中学校教諭1種及び小学校教諭2種免許状が取得できる。
- 2) 教員免許状を取得するためには、履修基準に定めた授業科目以外に「介護等体験実習」を受講することが必要となる。

別表3 教科教育コース（中学校サブコース）選択科目

10領域からいずれかの領域を一つ選択して履修すること。（中学校1種免許取得に必要な科目）

国 語 領 域	教科領域科目	日本語学基礎論 (2) 日本語学基礎論 (2) 日本語学基礎演習 (1) 日本語学基礎演習 (1)	4	20	
		日本古典文学史(2) 日本近代文学史(2) 日本古典文学講読 (1) 日本古典文学講読 (2) 日本近代文学演習 (2) 日本近代文学演習 (1) 日本古典文学演習 (1) 日本古典文学演習 (1)	4		
		中国文学史(2) 中国古典学講読 (1) 中国古典学講読 (1) 中国古典学演習 (1) 中国古典学演習 (1)	4		
		書道 A又は書道 B(各2) 書道 A又は書道 B(各2)	4		
域	関連科目	国語科内容学演習 (1) 国語科内容学演習 (1)	2	26	教科又は 教職科目 に対応
		教科領域科目のうち未修の科目から 教科に関する次の科目群から 日本語史(2) 日本語方言学(2) 日本語学演習(1) 日本語方言 演習(2) 日本古典文学講義(2) 日本近代文学講義(2) 日本漢文学史(2) 教職に関する次の科目群から（既修の科目を除く） 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育制度史(2) 生涯学習概論 (2) 児童心理学(2) 青年心理学(2) 教職の総合的研究(2) 総合的学習論A・B(各2) 授業実践論A・B(各2) 教育法規入門(2) ボランティア活動(2) 教育実践基礎演習(2) 社会研修(2) 介護実践演習(1)			
	教科教育法	国語科教育法(2) 国語科教育論(2) 国語科授業研究 (2) 国語科授業研究 (2)		8	

備考 教科領域科目については、日本語学基礎論・、日本古典文学史、日本近代文学史、中国文学史、中国古典学講読・、書道 A又は B、書道 A又は Bを、必ず履修すること。

社 会 領 域	教科領域科目	日本史学 (2) 日本史学 (2)	2	20	
		東洋史学(2) 西洋史学(2)	4		
		人文地理学(2) 自然地理学(2)	4		
		地誌学(2)	2		
		法律学(2) 政治学(2)	2		
		社会学 (2) 社会学 (2) 経済学(2)	2		
		哲学 (2) 哲学 (2) 倫理学 (2)	2		
域	関連科目	社会科内容学演習(2)	2	26	教科又は 教職科目 に対応
		教科領域科目のうち未修の科目から 教科に関する次の科目群から 社会科特別演習(2) 古文書学概論(2) 地理学実習 (2) 地理 学実習 (2) 日本社会史論(2) 環境教育論(2) 家族福祉論(2) 倫理学 (2) 教職に関する次の科目群から（既修の科目を除く） 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育制度史(2) 生涯学習概論 (2) 児童心理学(2) 青年心理学(2) 教職の総合的研究(2) 総合的学習論A・B(各2) 授業実践論A・B(各2) 教育法規入門(2) ボランティア活動(2) 教育実践基礎 演習(2) 社会研修(2) 介護実践演習(1)			
	教科教育法	社会科教育法(2) 社会科教育論(2) 社会科授業研究 (2) 社会科授業研究 (2)		8	

備考 教科領域科目については、それぞれ選択履修すること。

数 学	教科領域科目	代数学 (2) 代数学 (2) 代数学 (2) 代数学 (2)	4	20	
		幾何学 (2) 幾何学 (2) 幾何学 (2) 幾何学 (2)	4		
		解析学 (2) 解析学 (2) 解析学 (2) 解析学 (2)	4		
		確率・統計 (2)	2		
		計算機基礎(2)	2		
領 域	関連科目	数学科内容学演習(2)	2	26	教科又は 教職科目 に対応
		教科領域科目のうち未修の科目から 教科に関する次の科目群から 数学入門A(2) 数学入門B(2) 代数学緒論(2) 幾何学緒論(2) 解析学緒論(2) 確率・統計 (2) 数学実践演習 (1) 数学実践演習 (1) 教職に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育制度史(2) 生涯学習概論 (2) 児童心理学(2) 青年心理学(2) 教職の総合的研究(2) 総合的学習論A・B(各2) 授業実践論A・B(各2) 教育法規入門(2) ボランティア活動(2) 教育実践基礎 演習(2) 社会研修(2) 介護実践演習(1)			
	教科教育法	数学科教育法(2) 数学科教育論(2) 数学科授業研究 (2) 数学科授業研究 (2)		8	

備考 教科領域科目については、それぞれ選択履修すること。

理 科	教科領域科目	物理学概論 (2) 物理学概論 (2) 基礎物理学実験(1)	5	20	
		化学概論 (2) 化学概論 (2) 基礎化学実験(1)	5		
		生物学概論 (2) 生物学概論 (2) 基礎生物学実験(1)	5		
		地学概論 (2) 地学概論 (2) 基礎地学実験(1)	5		
領 域	関連科目	理科内容学演習(2)	2	26	教科又は 教職科目 に対応
		教科領域科目のうち未修の科目から 教科に関する次の科目群から 物理学 (2) 物理学 (2) 化学 (2) 化学 (2) 生物学 (2) 生物学 (2) 地学 (2) 地学 (2) 理科教育学 (2) 理科教育学 (2) 自然科学論(2) 物理学実験(2) 物理学演習 (2) 化学実験(2) 化学演習(2) 生物学実験(2) 生物学演習 (2) 地学実験(2) 地学演習(2) 理科教材研究(2) 理科教育学 演習(2) 理科教育特論 (2) 理科教育特論 (2) 教職に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育制度史(2) 生涯学習概論 (2) 児童心理学(2) 青年心理学(2) 教職の総合的研究(2) 総合的学習論A・B(各2) 授業実践論A・B(各2) 教育法規入門(2) ボランティア活動(2) 教育実践基礎 演習(2) 社会研修(2) 介護実践演習(1)			
	教科教育法	理科教育法(2) 理科教育論(2) 理科授業研究 (2) 理科授業研究 (2)		8	

備考 教科領域科目については、それぞれを必ず履修すること。

音 楽 領 域	教科領域科目	ソルフェージュ(2)	2	20	
		歌唱法基礎A・B(各1) 合唱表現法(2) 声楽 A・B(各1) 声楽 A・B(各1)	4		
		器楽奏法基礎A・B(各1) 合奏表現法(2) 管楽器奏法基礎A・B(各1) ピアノ A・B(各1) ピアノ A・B(各1) 管楽器 A・B(各1)	4		
		指揮法(2)	2		
		楽曲構成基礎論A・B(各1) 作曲・編曲法 (2)	2		
		音楽史(2)	2		
関連科目		音楽科内容学演習(2)	2	26	教科又は教職科目に対応
		教科領域科目のうち未修の科目から 教科に関する次の科目群から 声楽発展研究A・B(各1) ピアノ A・B(各1) 管楽器 A・B(各1) 弦楽器奏法基礎A・B(各1) 和音運用法 (2) 和音運用法 (2) 作曲・編曲法 (2) 音楽教育研究(2) 教職に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育制度史(2) 生涯学習概論 (2) 児童心理学(2) 青年心理学(2) 教職の総合的研究(2) 総合的学習論A・B(各2) 授業実践論A・B(各2) 教育法規入門(2) ボランティア活動(2) 教育実践基礎 演習(2) 社会研修(2) 介護実践演習(1)			
教科教育法		音楽科教育法(2) 音楽科教育論(2) 音楽科授業研究 (2) 音楽科授業研究 (2)		8	

備考 教科領域科目については、ソルフェージュ、歌唱法基礎A・B、器楽奏法基礎A・B、指揮法、楽曲構成基礎論A・B、音楽史を、必ず履修すること。

美 術 領 域	教科領域科目	造形基礎 (1) 造形基礎 (1) 絵画 A・B(各1)	4	20	
		絵画 A・B(各1)			
		彫刻 (2) 彫刻 (2)	2		
		構成 A・B(各1) 構成 A・B(各1) デザイン A・B(各1) デザイン A・B(各1)	4		
		工芸 A・B(各1) 工芸 A・B(各1)	2		
		美術理論(2) 美術史 (2)	4		
関連科目		美術科内容学演習(2)	2	26	教科又は教職科目に対応
		教科領域科目のうち未修の科目から 教科に関する次の科目群から 美術教育演習(2) 美術教育研究(2) 彫刻 (2) 彫刻 (2) デザイン (2) 工芸 A・B(各1) 工芸 (2) 美術史 (2) 教職に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育制度史(2) 生涯学習概論 (2) 児童心理学(2) 青年心理学(2) 教職の総合的研究(2) 総合的学習論A・B(各2) 授業実践論A・B(各2) 教育法規入門(2) ボランティア活動(2) 教育実践基礎 演習(2) 社会研修(2) 介護実践演習(1)			
教科教育法		美術科教育法(2) 美術科教育論(2) 美術科授業研究 (2) 美術科授業研究 (2)		8	

備考 教科領域科目については、造形基礎、絵画 A・B、彫刻、構成 A・B、工芸 A・B、デザイン A・B、美術理論、美術史を、必ず履修すること

保健 体育 領域	教科領域科目	基礎運動 (1) 身体表現 (1) 球技A (1) 球技B (1) 武道 (1) 野外スポーツ (1)	6	20		
		体育原理(2) 体育心理学(2) 体育社会学(2) 体育経営管理 学(2)	6			
		運動学(2) 運動方法学(2)	2			
		生理学(2) 運動生理学(2)	2			
		衛生・公衆衛生学(2)	2			
		学校保健(2)	2			
関連 科目	保健体育科内容学演習(2)		2	26	教科又は 教職科目 に対応	
	教科領域科目のうち未修の科目から 教科に関する次の科目群から 基礎運動 (1) 身体表現 (1) 球技A (1) 球技B (1) 武道 (1) 野外スポーツ (2) 体育史(2) 教職に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育制度史(2) 生涯学習概論 (2) 児童心理学 (2) 青年心理学(2) 教職の総合的研究(2) 総合的学習論A・B(各2) 授業実践論A・B(各2) 教育法規入門(2) ボランティア活動(2) 教育実践基礎演習(2) 社会研修(2) 介護実践演習(1)					
教科 教育 法	保健体育科教育法(2) 保健体育科教育論(2) 保健体育科授業研究 (2) 保健体育科授業研究 (2)			8		

備考 教科領域科目については、基礎運動，身体表現，球技A，球技B，武道，野外スポーツ，運動学，生理学，衛生・公衆衛生学，学校保健を，必ず履修すること。第2段では4科目から3科目を選択履修すること。

技 術 ・ 情 報 領 域	教科領域科目	木材加工法 (2) 木材加工法 (2)	4	20		
		金属加工(2)	2			
		機械工学 (2) 機械工学 (2)	4			
		電気工学 (2) 電気工学 (2)	4			
		栽培学 (2) 栽培学 (2)	2			
		情報基礎 (2) 情報基礎 (2)	4			
関連 科目	技術科内容学演習(2)		2	26	教科又は 教職科目 に対応	
	教科領域科目のうち未修の科目から 教科に関する次の科目群から 計算機システム(2) コンピュータネットワーク論(2) コンピュータネットワーク演習(2) ソフトウェア工学演習(2) 教職に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育制度史(2) 生涯学習概論 (2) 児童心理学(2) 青年心理学(2) 教職の総合的研究(2) 総合的学習論A・B(各2) 授業実践論A・B(各2) 教育法規入門(2) ボランティア活動(2) 教育実践基礎 演習(2) 社会研修(2) 介護実践演習(1)					
教科 教育 法	技術科教育法(2) 技術科教育論(2) 技術科授業研究 (2) 技術科授業研究 (2)			8		

備考 教科領域科目については、栽培学を除く10科目を，必ず履修すること。

家庭領域	教科領域科目	家庭経営学(2) 家族関係学(2)	2	20	
		被服学(2) 被服材料学・環境学(2) 被服整理学・染色学(2) 被服構成学実習 (1)	2		
		食物学(2) 食品学・調理学(2) 栄養学(2) 調理学実習 (1)	2		
		住居学(2)	2		
		保育学概論(2)	2		
関連科目	家庭科内容学演習(2)		2	26	教科又は教職科目に対応
	教科領域科目のうち未修の科目から 教科に関する次の科目群から 家庭電気・機械(2) 生活情報処理(2) 被服構成学実習 (1) 被服学実験(2) 食生活論(2) 調理学実習 (1) 食物学実験(2) 住環境学(2) 福祉住環境論(2) 保育学各論(2) 発達小児科学(2) 家庭科教育演習(2) 教職に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育制度史(2) 生涯学習概論(2) 児童心理学(2) 青年心理学(2) 教職の総合的研究(2) 総合的学習論A・B(各2) 授業実践論A・B(各2) 教育法規入門(2) ボランティア活動(2) 教育実践基礎演習(2) 社会研修(2) 介護実践演習(1)				
教科教育法	家庭科教育法(2) 家庭科教育論(2) 家庭科授業研究 (2) 家庭科授業研究 (2)			8	

備考 教科領域科目については、家庭経営学，被服学，食物学，住居学，保育学概論を，必ず履修すること。

英語領域	教科領域科目	英語音声学 (各1) 英文法(2) 英語史(2) 英語学演習 (2)	2	20	
		英文学史(2) 米文学史(2) 英国演劇(2) 英国散文 (2) 米国散文 (2)	4		
		英会話(2) 英作文(2) LL演習 A・B(各1) LL演習 A・B(各1)	2		
		異文化理解(2) 異文化間コミュニケーション論(2)	2		
関連科目	英語科内容学演習(2)		2	26	教科又は教職科目に対応
	教科領域科目のうち未修の科目から 教科に関する次の科目群から 英語学演習 (2) 英語教育実践演習(1) 教職に関する次の科目群から(既修の科目を除く) 同和教育(2) 学級経営論(2) 比較教育学(2) 学校教育制度史(2) 生涯学習概論(2) 児童心理学(2) 青年心理学(2) 教職の総合的研究(2) 総合的学習論A・B(各2) 授業実践論A・B(各2) 教育法規入門(2) ボランティア活動(2) 教育実践基礎演習(2) 社会研修(2) 介護実践演習(1)				
教科教育法	英語科教育法(2) 英語科教育論(2) 英語科授業研究 (2) 英語科授業研究 (2)			8	

備考 教科領域科目については、英語音声学，英文法，英語史，英文学史，米文学史を必ず履修すること。

(2) 人間発達環境課程履修基準

発達臨床コース

区 分	授 業 科 目	単位数	
主題科目 学問基礎科目 教養ゼミナール コミュニケーション科目(「外国語」「健康・スポーツ実技」)		3 6	
専 門 基 礎 科 目 (学部共通)	人間形成論(2) マルチメディア・リテラシー(2)	4	
基 礎 研 究	発 達 と 環 境 生涯発達心理学(2) コミュニケーション論(2)	2	
	人間環境学 (2) 人間環境学 (2)	2	
	国際社会論(2) 多文化共生論(2)	2	
	人間発達環境入門演習(2)	2	
発 達 臨 床 の 基 礎	臨床心理学(2) 学校教育心理学(2) カウンセリング概論(2) 関係発達論(2) 社会福祉原論(2) 児童福祉論(2) 教育臨床心理学(2)	1 2	
実 践 研 究	発達臨床実践研究 (2) 発達臨床実践研究 (2)	4	
発 展 研 究	発 達 臨 床 の 応 用 (選択科目)	生活発達論(2) 乳幼児心理学 (2) 教育心理学演習 ・ (各1) 心理学実験 ・ (各1) 心理検査 ・ (各1) 教育統計学(2) 性格心理学(2) 社会心理学(2) 臨床心理学演習 ・ (各1) 学習心理学(2) 生物共生システム論(2) 臨床心理学実習 ・ (各1) 発達障害医学・生理学(2) 障害児・者福祉(2) 障害児心理学(2) 障害児心理アセスメント論(2) 高齢者福祉論(2) 地域福祉論(2) 小児発達論(2) 発達小児科学(2) 医学概論(2) 発達障害児の教育と心理・生理(2) 生徒指導論 A(2) 生徒指導論 B(2) こども・若者論(2) メディア論(2) 家族福祉論(2) 健康論(2) 音楽環境論(2) 美術理論(2) 地域居住論(2) 生死文化論(2) 生命と倫理(2) ジェンダー論(2) 異文化間コミュニケーション論(2) 世界の言語と文化 ・ (各1) ボランティア活動論(2) 運動処方(2) 発育・発達論(2) 福祉住環境論(2)	3 4
	特 別 演 習	発達臨床演習 ・ (各2)	4
		発達臨床特別演習(2)	2
	自 由 科 目	教育学部で開設する授業科目	2 0
	卒 業 研 究		4
			1 3 0

備考 「世界の言語と文化 ・ 」は高学年向け教養科目の「西洋古典語」を読み替える。

人間環境教育コースの履修基準

区 分	授 業 科 目	単位数				
主題科目 学問基礎科目 教養ゼミナール コミュニケーション科目(「外国語」「健康・スポーツ実技」)		36				
専 門 基 礎 科 目 (学部共通)	人間形成論(2) マルチメディア・リテラシー(2)	4				
基 礎 研 究	発 達 と 環 境 (課 程 共 通)	生涯発達心理学(2) コミュニケーション論(2)	2	8		
		人間環境学 (2) 人間環境学 (2)	2			
		国際社会論(2) 多文化共生論(2)	2			
		人間発達環境入門演習(2)	2			
	人 間 環 境 教 育 の 基 礎	人間環境教育基礎演習(2) 人間環境教育実践研究入門(2)		4	12	
		自然環境概論	物質環境論(2) 数理情報論(2) 宇宙地球環境論(2)	2		
		社会環境概論	環境社会学(2) 家族・社会システム論(2) 生涯学習概論 (2) 経済文化論(2)	4		
		人文環境概論	人間存在論(2) 生死文化論(2) 健康論(2)	2		
		芸術環境概論	造形基礎 ・ (各1) 音楽環境論(2)	2		
	実 践 研 究	人間環境教育実践研究 (2) 人間環境教育実践研究 (2)		4		
発 展 研 究	人 間 環 境 学 特 論	社会学 (2) 地域居住論(2) 生涯学習計画論A(2) 比較社会経済史論(2) 歴史環境論(2) 西洋文化史(2) 生命と倫理(2) 遊戯文化論(2) 環境保全論(2) データ解析論(2) シミュレーション物理(2) 美術理論(2) 音楽表現(2)	10	22		
		人 間 環 境 学 関 連 科 目	環境教育論(2) ジェンダー論(2) メディア論(2) ボランティア活動論(2) ボランティア活動(2) 博物館学 (2) 美術史 (2) 美術史 (2) 芸術表現(2) 基礎化学実験(1) 基礎物理学実験(1) 基礎地学実験(1) 基礎生物学実験(1) 家族福祉論(2) 古文書学概論(2) 言語文化論(2) 教育社会学(2) 生物共生システム論(2) 日本社会史論(2)			
			発 展 演 習	教育環境デザイン演習 (2) 共生社会システム演習 (2) 教育環境デザイン演習 (2) 共生社会システム演習 (2) 教育環境デザイン演習 (2) 共生社会システム演習 (2)		12
			特 別 演 習	人間環境教育特別演習(2)		2
	自 由 科 目	教育学部で開設する授業科目および経済学部で開設する指定の 授業科目		20		
	卒 業 研 究			4		
				130		

国際理解教育コースの履修基準

区 分	授 業 科 目	単位数	
主題科目 学問基礎科目 教養ゼミナール コミュニケーション科目(「外国語」「健康・スポーツ実技」)		3 6	
専 門 基 礎 科 目 (学部共通)	人間形成論(2) マルチメディア・リテラシー(2)	4	
基 礎 研 究	発 達 と 環 境 (課 程 共 通)	生涯発達心理学(2) コミュニケーション論(2)	2
		人間環境学 (2) 人間環境学 (2)	2
		国際社会論(2) 多文化共生論(2)	2
		人間発達環境入門演習(2)	2
国 際 理 解 教 育 の 基 礎	異文化間コミュニケーション論(2) 人文地理学(2) 英語圏の 文学と社会(2) 言語学概論(2) 日本語教育学概論 (2)	6	
実 践 研 究	国際理解教育実践研究 (2) 国際理解教育実践研究 (2)	4	
発 展 研 究	多 文 化 社 会 と 教 育	哲学 (2) 地誌学(2) 地理学実習 (2) 地理学実習 (2) 日本社会史論(2) 西洋史学(2) 東洋史学(2) 教育社会学(2) 教育原論(2) 人間存在論(2) 生命と倫理(2) 比較教育学(2) 多文化社会演習(2) 世界の言語と文化 ・ (2) 異文化理解(2) 音楽環境論(2) ----- 法学部・経済学部で開設する指定の授業科目	6
	日 本 語 文 化 と 日 本 語 教 育	日本語学概論 (2) 日本語学概論 (2) 日本語史(2) 日本語音声学(2) 日本語文法論(2) 日本語文字・表記論(2) 日本語語彙論(2) 日本語方言学(2) 社会言語学演習(2) 日本語方言演習(2) 音声学演習(2) 日本語教育学概論 (2) 日本語教材教具論(2) 日本語教育学演習(2) 日本語教育実習(3) 日本文芸文化論(2)	6
	英 語 圏 文 化 と 英 語 コミュニケー ション	英文法(2) 英語史(2) 言語文化論(2) 英米の思想と文学(2) 米国散文 (2) 英語演習 (2) 英語演習 (2) 英語演習 (2) 英語演習 (2) 英会話(2) 英作文(2) 英文学史(2) 米文学史(2) 英語音声学 ・ (各1)	6
特 別 演 習	国際理解教育特別演習 (1) 国際理解教育特別演習 (1)	2	
自 由 科 目	教育学部で開設する授業科目および法学部・経済学部で開設する 指定の授業科目	2 2	
卒 業 研 究		4	
		1 3 0	

備考 「世界の言語と文化 ・ 」は、高学年向け教養科目の「西洋古典語」を読み替える。